「ひだまりサロン」ご案内

～がん患者さんとご家族の集う場所～

がんについて一人で悩んでいませんか？
患者さん同士で話してみたい、
がん患者さんとご家族の皆さんで
悩みを相談してみたい・・・
気軽に語り合えるサロンです。

♡開催日　令和4年3月2日（水）　13:00～15:00(2時間程度)
♡場所　西脇病院　2階　講堂（東）
　ご希望の方は、インターネットを利用して自宅などからの参加も可能です。
♡対象　がん体験者さんとそのご家族
♡内容　交流会　と　社会福祉士　の　ミニ講座
　「　治療とお金　～　医療費と社会保障制度　～　」
♡申込方法　来院または電話・メールでお申し込みください。
　（メールの方は、タイトルに「ひだまりサロン参加希望」と明記ください。）
　インターネットを利用しての参加希望の方は、前日までに、tiiki@nshp.jp へ

＊十分な感染予防対策で行います＊
＊参加費不要　気軽にご参加ください＊

お問い合わせ：西脇病院　がん相談支援センター(担当:西畑、仁木)
☎直通0795－22－8270
（病院代表 0795-22-0111 からは内線 331）

NISHIWAKI MUNICIPAL HOSPITAL

患者総合支援センターだより
2022年1月発行

西脇市立西脇病院
〒677-0043　兵庫県西脇市下戸田652番地の1
TEL：0795-22-0111(代表)

患者総合支援センター　直通
TEL：0795-22-8270
FAX：0795-23-4580

西脇市立西脇病院　Nishiwaki Municipal hospital

患者総合支援センターだより

ＨＰ：https://www.city.nishiwaki.lg.jp/hospital

1 January 2022
NIHONNO HESONO

新年のごあいさつ

患者総合支援センター　センター長　来住（きし）　稔（みのる）

皆様、新年あけましておめでとうございます。平素は、病診連携・病病連携に御協力いただきまして、大変ありがとうございます。

昨年末は、日本において新型コロナウイルス感染症も少し落ち着きを見せ、長きにわたるこの感染症との戦いに一時の休息を得ることができました。病院内外でもう慣れてしまった新しい生活様式を保ちながら、いくらかコロナ禍前の社会活動も再開されていたかのように思います。

しかしながら、新年となり今度は一部の地域でオミクロン株が猛威を振るいはじめました。北播磨地域でも患者さんの急激な増加が危惧されており、再びコロナウイルスとの新たな戦いが始まろうとしています。巷では「弱毒化した」などと言われていますが、それは目の前の患者さんが、最終的に重症化しなかったときに得られる結果にしかすぎません。発熱し苦しまれる患者さんを前に、我々は粛々と治療を行うのみです。いくら軽症と噂されても患者さんの急激な増加が心配されるので、今回はより一層身を引き締めて対応しなければなりません。さらには、軽症患者さんの増加は病院のみならず、地域の医療機関の諸先生方との連携が重要となってくることを意味します。今までの皆様の御協力によって得られた当地域の比較的円満な関係を利点として、この困難に一丸となって皆様と共に再び立ち向かっていければと思います。

本年もまだまだ大変な困難が沢山存在すると思いますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

『病理診断科』について

病理診断科　部長　大西（おおにし）　隆仁（たかまさ）

常勤医師１名と非常勤医師２名、細胞検査士４名、検査技師１名が診療に携わっています。病理医全員が病理専門医の資格を有しています。

当科では、採取された臓器、組織や細胞を肉眼あるいは顕微鏡を用いて調べ、最終診断や重要な医療情報を提供しています。

当院の病理診断科は、日本病理学会研修登録施設です。

診療内容

病理診断科では主に４つの業務を行っています。

①　病理診断

内視鏡検査や手術などで採取された組織について、肉眼的あるいは顕微鏡を用いて調べ(写真１)、良性か悪性かの判定を含めて、組織診断を行います（写真２)。確定診断のために特殊染色や免疫染色を行うことがあります。治療のために遺伝子変異やタンパクの異常発現を調べたりします（HER2, EGFR など)。

（写真１／顕微鏡）

（写真２／大腸腺癌の組織）

ここ数年の主な取り組み

●　骨髄検査の迅速な報告

骨髄穿刺を行った当日中に、骨髄像の観察とフローサイトメトリー法による測定を行って結果を報告しています。血液内科における造血器悪性腫瘍の早期診断及び治療に寄与しています。

●　術前緊急エコー実施体制

技師を育成し、大腿骨頸部骨折の受傷後 48 時間以内の緊急手術に対して、術前に心・血管エコーができる体制を整えました。手術後の合併症・死亡率の軽減に役立っています。

●　新型コロナウイルス関連

LAMP 法による遺伝子増幅検査を導入し、休日も含めて実施しています。発熱のある方、当院へ入院される方（疾患を問わず）、濃厚接触者など多くの方が検査を受けられています。2021 年１月からは所要時間約 15 分の NEAR 法も導入し、迅速な診断が求められる患者さんに対して、より早く結果報告ができるようになりました。

（LAMP 検査）

●　その他

乳腺エコー及び婦人科での妊婦エコーや胎児エコー（精査）では、女性技師がプライバシーに配慮し対応しています。

また、心臓カテーテル検査・心筋シンチでの心電図管理などでチーム医療に貢献しています。

（エコー検査）

地域の先生方へ

検査部では、他院からの生理検査の依頼をお受けしています。

検査項目は、動脈硬化（ABI）、腹部エコー、心電図、運動負荷心電図（トレッドミル）、24 時間心電図、24 時間血圧計付心電図検査です。

詳しくは、患者総合支援センターまでお問い合わせください。

『検査部』について

検査部　部長　市橋（いちはし）　里美（さとみ）

病気の正確な診断、適切な治療、予防のためには検査情報は欠かせません。
私たちは診療の縁の下の力持ちとして、24 時間 365 日検査を実施しています。
日進月歩で進化する医療現場に対応するために、様々な資格を取得し、豊富な知識と経験を活かして質の高い検査の提供ができるよう努力しています。
また、抗菌薬適正使用支援チーム、感染対策チーム、糖尿病療養チーム、栄養サポートチームなどにおいて、多職種と協力し活動しています。
１階のＨブロックに生理検査部門、２階に検体検査部門（血液検査・輸血・生化学検査・細菌検査・病理検査など）を配置しています。

検査部　認定資格取得者

細胞検査士	（日本臨床細胞学会）	４名
糖尿病指導療法士	（兵庫県糖尿病学会）	１名
超音波検査士	（超音波医学会）	
	循環器領域	３名
	消化器領域	３名
	体表領域	３名
	健診領域	３名
	血管領域	１名
	婦人科領域	１名
日本乳がん検診精度管理中央機構認定技師		１名
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者		１名
検体検査管理責任者	（日本臨床衛生検査技師会）	１名

②　術中迅速診断

手術時に良性か悪性かの判定や病変が取り切れているかどうかを調べたり、切除する範囲を決定したりする場合に行います。手術術式の重要な判断となります。提出されてから約 15 分で診断を行います。

③　細胞診

子宮、甲状腺、乳腺、喀痰、尿、腹水や胸水などから採取された細胞について顕微鏡を用いて調べ、良性か悪性かの判定を行います(写真３)。
現在、４名の細胞検査士が活躍しています。

（写真３／子宮腟部の扁平上皮癌の細胞）

④　病理解剖

病理(死体)解剖資格を有しています。不幸にして治療の甲斐なく病院で亡くなられた場合、ご家族の方にとって死亡原因を知ることは重要なことです。解剖して死亡原因を調べたり、治療の効果を判定したりします。

地域医療の先生方へ

当院へご紹介いただく際には、紹介状と一緒に採取された組織標本(プレパラート等)をご用意いただければ有り難いです。

『産婦人科』について

産婦人科　医長　野村（のむら）　和久（かずひさ）

当院は、北播磨地域では数少ない急性期総合病院における周産期医療を行っています。

また、これまでの産科、婦人科の診療に加えて、2020年４月から一般不妊治療を開始しました。

さらに、2022年４月から新たに人工授精も可能になります。

診療内容

● 産科

種々の合併症妊娠の管理、分娩、手術などの診療を行なっています。

特に小児科と深く連携した周産期医療を行っています。いつも小児科の先生方に迅速な対応をしていただきながら診療しています。

2012年度から胎児スクリーニングエコー（胎児頭部神経系および胎児心臓エコー）を導入し、より安全で迅速な高次機能・周産期施設への紹介を行っています。

● 婦人科

各種手術に幅広く取り組んでいます。

2012年度から、これまで当院で行われていなかった腹腔鏡手術（お腹を大きく切開せずに小さな傷のみで行う内視鏡手術のこと）も導入し、より低侵襲の手術にも積極的に取り組んできています。

腹腔鏡の手術症例は、年々増加の傾向です。

● 不妊治療

2020年４月からスタートしました。

当科で行えるのは、施設基準の観点などから一般不妊治療の領域までですが、多くの患者様が一般不妊治療での妊娠を期待できます。

一般不妊における検査・治療を行い、体外受精などの高度不妊治療が必要な患者さんがいらっしゃる場合は、当科より信頼のおける高度不妊治療施設への紹介をスムーズにさせていただきます。

また、2022年４月から新たに人工授精も可能になります。これにより、高度不妊治療の前段階までの不妊治療は、全て当院でまかなえるようになります。

地域の先生方へ

地域の開業医の先生方には、患者様の紹介など病診連携でお世話になることも多いと思いますが、引き続き西脇病院産婦人科をよろしくお願いいたします。

	月	火	水	木	金
産婦人科	阿江　孝 野村　和久〔午後診〕	阿江　孝（予約・紹介患者様のみ）	野村　和久（予約・紹介患者様のみ）	阿江　孝 野村　和久〔午後診〕	野村　和久

患者総合支援センター『相談支援課』はこんなところ

患者様やご家族に寄り添う支援を実施します。

また、地域の医療機関や事業所の方々と連携しながら患者様やご家族のサポートをします。

＊　当院に通院されていない方の相談にも応じます。気軽にご相談ください。

相談内容について

≪ 患者相談窓口 ≫

- 診療や看護について
- 介護保険や障害について
- 医療機関や社会福祉施設について
- 経済的なことについて

＊　問い合わせ先
患者総合支援センター
相談支援課（内線　339）

≪ がん相談支援センター ≫

- がん治療について
- セカンドオピニオン
- 療養生活について
- 治療と仕事の両立
- がん患者サロン

＊　問い合わせ先
がん相談支援センター
（内線　331）